

新時代の「セミフォーマル」の考え方 Q&A

「フォーマル」(正装)、「セミフォーマル」(準礼装)、「インフォーマル」(略礼装)と、TPOで異なる装いの格。ドレスコードをきちんと守りながらも華やかなおしゃべりに仕上げたいのが、夜の「セミフォーマル」の装いです。最新のフォーマルウェア事情に詳しい中野先生に、「セミフォーマル」を中心にお話を伺いました。

回答者・文・中野香織 [服飾史家]

Q1 夜のガラパーティの招待状が届きました。ドレスコードが「カクテル」となっていたのですが、どのようなスタイルを指しますか？

A1 現在の日本において、特に年末年始の夜のパーティへの招待状にもっとも多く見られるドレスコードは、「セミフォーマル」(準礼装)ではないでしょうか。特に夜の「セミフォーマル」は「ブラックタイ」とも表現され、その場合、男性はタキシード(イギリスではこれを「ディナージャケット」と呼ぶ)、女性はカクテルドレスを着用します。女性がカクテルドレスを着用する機会であることから、ドレスコードが「カクテル」と表現されることも増えていますが、それは女性一人でパーティに出ることも増えてきた時代背景を反映した呼び方でしょう。本来、カクテルドレスを着た女性の隣にいる男性はタキシードを着用するべき場なので、「カクテル」と明記されたドレスコードは、夜の「セミフォーマル」と考えるのが筋です。

Q2 では、夜の「セミフォーマル」にふさわしい服の選び方は？

A2 ドレスコードに合う服をいつもの信頼のブランドから新調する場合、どうしてもトレンドの液を受けたデザインから選ぶことになりがちです。それゆえに、どこまでが夜の「セミフォーマル」にふさわしい服なのか悩ましいものです。そのときの考え方として、いくつか知っておくとよい基準はあります。素材としては、夜は輝きや光沢のあるもの、昼はマットでシツクなもの。色ならば、西洋では多色使いを嫌うので、ドレスはできるだけ色数を少なくしましょう。また、昼は肌の露出は控えめなのが上品ですが、夜は宝石を直接肌の上に着けるために適度に露出するほうが格上です。スカート丈もトレンドに応じて多様な提案がなされていますが、踝までのロング丈が格上に見えます。いずれも、選べたら、カシミアやシルクではなく格上を選ぶことが大切。ただし、現在は「セミフォーマル」の解釈はかなり幅広くなっているの、不安な場合は主催者に、どんなゲストが呼ばれていて、どんな演出なのかなどのオケージョンを事前に確認するのがベストです。

Q3 同じ「セミフォーマル」のドレスコードでも昼と夜のパーティでは装いが異なりますか？

A3 はい、西洋のドレスコードでは昼と夜の着分けが基本になります。一方、西洋にはありませんが、日本では和装においては既婚・未婚による着分けや、季節に応じて着分けのルールがあります。夜のドレスアップのポイント
は、光。と。艶。を作ることになります。デコルテに宝石を飾る、光を受けて煌めくバッグや靴などの小物を選ぶ、艶感のあるヘアメイクを整えるというひと手間を加えることで夜にふさわしいドレスアップになります。夜は昼よりもドレスアップすると心得ましょう。

※1 カクテルドレス

本義、カクテルとは夕食前の飲み物で、アフタヌーンとイブニングの中間にあたる装い。現在では、夕方から夜の「セミフォーマル」と同義とされる。エスコートする男性は、タキシードであることが多い。



「格上」を目指すときの参考にしたい、ヨーロッパ王族たちのカクテルドレスの装い。(右)女王主催の誕生日会へ社主デンマークのメアリー皇太子妃、パートナーとブルー系で統一した美しいワンショルダーのドレスで。(中)モナコのシャルレーヌ公妃のガウンドレスの装い。海洋を守るガラパーティにふさわしいブルーのドレスは、ビジュアールが見事。オールバックの髪形でモダンに仕上げているのもポイントです。(左)フェミニニティが重なるスペインのレティシア王妃の淡いピンクのドレス。大きくデコルテを見せつつも肩を隠して、上品な露出度です。

Q4
ドレスコードがあるなかで、装いにトレンドを盛り込んでもよいのでしょうか？

A4
ドレスコードは、主催者側が示す。装いのルール。です。主催者が場の「格」を明らかにし、そのガイドラインに沿ってゲストは服装で、「礼」を表現します。社交や式典を円滑に進めるのに大切なことですが、洗練されたドレスアップを羨しみたいというおしやれ心もまた、大切です。実は、フォーマルウェアのドレスコードのある場において、適度にトレンドを取り入れることは問題ありません。パーティのTPO（特にオケーション）を事前に把握すれば、トレンドを取り入れるさじ加減が見えてくるはず。パーティを楽しむために、情報収集は大切です。

Q5
「セミフォーマル」ではあります。華やかさに少し欠けるドレスしか持っていない。さらに格を上げるには、どうすればよいですか？

A5
ドレスコードはクリアするけれど、シンプルなデザインが気がかりなドレス。こんな一着を格上げを飾るために、ヘアメイク、アクセサリー、靴とバッグを艶や輝きのあるものにしませう。ただし、バッグは小ぶりなもので、ブランドがはつきりとわかるものやアニマルを連想させるものを避けるのが賢明です。心配であれば、男性にエスコートされる場合、お相手にタキシードを着用してもらえば、安心です。

家族や仕事の節目、あるいはクルーズやカジノといった非日常イベントのみならず、各種お披露目パーティ、記念パーティなど、「セミフォーマル」を着る機会は、人生の幅が広がるにつれて増えていきます。装う喜びをより深めるためにも、ドレスで躊躇することなく、「セミフォーマル」の機会を積極的に楽しんでまいりましょう。

Q6
格上を目指すのはよくわかりましたが、格上すぎて場違い、ということもあるのでしょいか？

A6
ここで改めておさらいですが、フォーマルウェアの格は大きく分けて3段階あります。上から「フォーマル」（正礼装）※2、「セミフォーマル」（準礼装）、「インフォーマル」（略礼装）です。サッシュやティアラを身に着けることが多い「フォーマル」のドレスコード。王族や大統領などが列席する場面やノーベル賞授賞式などでの特別な場での装いゆえ、滅多にあるものではなく、主催者から具体的に細かな服装指示が入ります。私たちにも馴染みのある「セミフォーマル」や「インフォーマル」は時代とともに解釈の幅が広がっていますが、それでも、場や相手に対する敬意を丁寧に表現するために、TPOをしっかりと確認して、格上を意識した装いで臨むことは問題ありません。カジュアルダウンは、仲間内のパーティで

※2 フォーマル（正礼装）
富中晩餐会などのシーンで指定される、最も格の高いドレスコード。男性の装いである「セミフォーマル」を意味する「ブラックタイ」に対して、夜のフォーマルを「ホワイトタイ」と明記することも。

肩からサッシュをかけ、ティアラや大ぶりのジュエリーを装備した「フォーマル」を装い、ともに國賓をもてなす富中晩餐会での装い。（右）オランダのマグシマ王妃はヘアトップのドレスの上からシースルーのガウンを羽織り、艶やかに。（左）繊細なレースが美しい、ロングドレス姿の英国のエリザベス女王。白のグローブで袖を露わにしないのも、彼女の流儀。



ドレスコードについてもっと知りたいなら、中野香織先生の最新刊を！



のかわり●執筆、講演に加え、のアドバイザーも務める。近著「フォーマルウェアの教科書（洋装・和装）」（一般社団法人・日本フォーマルウェア文化普及協会）では和装についても普及。https://ventonica-stores.jp/ から購入可能。